

CASBEE-建築(新築)2014年版
(仮称)長岡研修センター新築工事(研修棟)

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.1
Q1 室内環境			0.40					3.2
1 音環境		3.3	0.15					3.3
1.1 騒音		3.0	0.40					
1.2 遮音		3.4	0.40					
1 開口部遮音性能		3.0	0.60					
2 界壁遮音性能	界壁(スライディングウォール)に高音タイプ(54.7dB)を選択	4.0	0.40					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音	床(カーペットタイル)、天井(岩綿吸音板)を基本として選択	4.0	0.20					
2 温熱環境		2.7	0.35					2.7
2.1 室温制御		3.6	0.50					
1 室温		3.0	0.38					
2 外皮性能	窓SC(0.24)、窓U(4.28)、外壁U(1.06)の結果、評価点4を選択	4.0	0.25					
3 ゾーン別制御性	ゾーン別空調配置と屋外機系統の分割制御により冷暖個別対応	4.0	0.38					
2.2 湿度制御		3.0	0.20					
2.3 空調方式		1.0	0.30					
3 光・視環境		3.3	0.25					3.3
3.1 昼光利用		3.0	0.30					
1 昼光率		3.0	0.60					
2 方位別開口								
3 昼光利用設備		3.0	0.40					
3.2 グレア対策	内部のロールスクリーンと外部の庇・ルーバーを設置	4.0	0.30					
1 昼光制御	内部のロールスクリーンと外部の庇・ルーバーを設置	4.0	1.00					
3.3 照度		3.0	0.15					
3.4 照明制御		3.0	0.25					
4 空気質環境		3.7	0.25					3.7
4.1 発生源対策		4.0	0.50					
1 化学汚染物質	床・壁・天井の仕上材は原則的に全てF☆☆☆☆を選択	4.0	1.00					
4.2 換気		3.0	0.30					
1 換気量		3.0	0.33					
2 自然換気性能		3.0	0.33					
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33					
4.3 運用管理		4.0	0.20					
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50					
2 喫煙の制御	1階内部に喫煙室、2階テラス(外部)に喫煙所設置し分煙を徹底	5.0	0.50					
Q2 サービス性能			0.30					3.2
1 機能性		3.3	0.40					3.3
1.1 機能性・使いやすさ		2.3	0.40					
1 広さ・収納性		3.0	0.33					
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33					
3 バリアフリー計画		3.0	0.33					
1.2 心理性・快適性		4.6	0.30					
1 広さ感・景観	2階居室は天井高3mで大きな開口を設置し日射はルーバーで制御	5.0	0.33					
2 リフレッシュスペース	クリエイティブスペースは研修中のリフレッシュ空間として機能	5.0	0.33					
3 内装計画	ガラスの研修室・円形の掘込天井など内観バースにより検証・検討	4.0	0.33					
1.3 維持管理		3.5	0.30					
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保	充分なSK設置と適切な点検口の配置	4.0	0.50					
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30					3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4 信頼性			3.0	0.20			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備	節水型器具の採用と配管系統の区分、井水の利用	4.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備		2.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.3	0.30			3.3
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30			
1	階高のゆとり	階高(1階)=4800、(2階)=4200	5.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.032	5.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり			2.0	0.30			
3.3 設備の更新性			3.0	0.40			
1	空調配管の更新性		3.0	0.20			
2	給排水管の更新性		3.0	0.20			
3	電気配線の更新性		3.0	0.10			
4	通信配線の更新性		3.0	0.10			
5	設備機器の更新性		3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30			3.1
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮		長岡京市景観条例による景観デザイン審査会の審議を完了	4.0	0.40			4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30			3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-			3.5
LR1 エネルギー			-	0.40			3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20			3.0
2 自然エネルギー利用		2階中央に中庭を設置しガラス開口からの自然採光を取得	4.0	0.10			4.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.80 住宅(専有部) -	4.0	0.50			4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		1次エネルギー消費量 BEIm=0.80	4.0	1.00			
集合住宅の評価(3c)							
4 効率的運用			3.5	0.20			3.5
集合住宅以外の評価			3.5	1.00			
4.1	モニタリング	低圧分電盤にデジタルマルチメーターを設置しモニタリング	4.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
集合住宅の評価							
4.1	モニタリング						
4.2	運用管理体制						
LR2 資源・マテリアル			-	0.30			3.5
1 水資源保護			3.4	0.20			3.4
1.1	節水	自動水洗および節水型便器の採用	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減			3.6	0.60			3.6
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20			
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	ビニル床材(倉庫) フローリング(食堂)	4.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材	内部の木製ルーバーと和室造作は針葉樹(ひのき・杉)を選択	4.0	0.10			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	外壁ECPの鉄骨造でルーバー、パーティション、乾式間仕切壁採用	5.0	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20			3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	鉄骨さび止め塗装	4.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境			-	0.30			3.4
1 地球温暖化への配慮		排出率=82%	3.5	0.33			3.5
2 地域環境への配慮			3.6	0.33			3.6
2.1	大気汚染防止	燃焼機器の使用無し 食堂厨房はオール電化	5.0	0.25			
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.6	0.25			
1	雨水排水負荷低減		-	-			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33			
3	交通負荷抑制	敷地内スペースの利用による交通負荷抑制	5.0	0.33			
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33			
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33			3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	0.33			
2	振動		3.0	0.33			
3	悪臭		3.0	0.33			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.3	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制						
3	日照障害の抑制	冬至 4時間(5m) 2.5時間(10m) 敷地内で完結	4.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.7	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	過剰な照明を避け適切な配向を設定 広告物は最小限の照明	4.0	0.70			
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			